

毎月のExcel集計、AIに任せてみる

定型レポートを自動化する3つのアプローチ

2026年8月3日 発行 <https://dnd-inc.jp/blog/ai-excel-report-automation.html>

この資料の要点

- ・ 月次集計・定型レポートはAIが最も得意とする自動化対象の一つ。
- ・ 活用方法は「関数・マクロ生成」「AIアドイン活用」「ワークフロー連携」の3段階。
- ・ 「AIに集計させる部分」と「人が確認すべき部分」を分けることが成功のカギ。

なぜ「月次集計」は自動化されにくいのか

多くの中小企業で、月末・月初の集計作業は「毎回やっている」のに「いつも時間がかかる」という状態が続いています。主な理由は次の3つです。

- ・ 担当者の頭の中にしか手順がない（属人化）
- ・ ファイルが分散している（複数ExcelファイルをSalesから手動で収集）
- ・ 「自動化は難しそう」という思い込み（プログラミング不要の手段が見えていない）

2026年時点では、生成AIを活用することでプログラミング不要の自動化が現実的になっています。

AIを活用する3つのアプローチ

アプローチ① 関数・マクロを書いてもらう（難易度：低）

ChatGPTやClaudeに自然言語で依頼し、Excelの関数やVBAマクロを生成してもらう方法です。

- ・「A列に日付、B列に売上。月別合計を別シートに集計するVBAを書いて」
- ・「複数CSVを1シートにまとめ、重複行を削除するマクロが欲しい」

関数を自分で調べる時間がゼロになるだけで、集計作業の体感速度は大きく変わる。

AIが出力したコードは、必ず小さいデータで動作確認してから本番に適用してください。

アプローチ② AIアドインで直接Excelを操作させる（難易度：中）

Microsoft 365 Copilotは、Excel上でAIに指示するだけで集計・グラフ化・要約を自動処理します。2026年2月に追加された「エージェントモード」では、複数ステップの操作を一括実行できます。

- ・「売上を月別・商品カテゴリ別にピボットして前月比を追加して」
- ・「顕著に変化したポイントを3点で要約して」

Google Sheetsを使っている場合は、Gemini in Google Sheetsが同様の役割を果たします。

アプローチ③ ワークフロー自動化ツールと連携する（難易度：高）

Make・n8n・ZapierなどとAIを組み合わせ、データ収集から報告書生成・配信までを完全自動化します。

- ・販売管理システムCSVを毎月1日に自動取得→スプレッドシート転記→AI要約文生成→Slack送信
- ・担当者フォーム収集→自動統合→集計グラフ更新→経営陣へPDF配信

設計に工数が必要ですが、一度仕組みができれば毎月の作業がほぼゼロになります。

「AIに任せる部分」と「人が確認すべき部分」

- ・AIに任せてよい部分：データ集計・整形、定型フォーマット転記、グラフ生成、コメント下書き
- ・人が確認すべき部分：数字の解釈・意思決定、異常値・ミスの判断、対外向けの最終確認

どのアプローチから始めるか

- ・Excelで特定の関数・マクロに困っている → アプローチ①（今日から試せる）
- ・Microsoft 365 / Google Workspaceを契約済み → アプローチ②（追加ツール不要）
- ・複数システムからデータを手動収集している → アプローチ③（効果最大・設計要）

株式会社DnDでは、月次集計・レポート作成などの繰り返し業務を自動化・標準化する「オペレーション改善」をご提供しています。

ご相談・お見積りは無料です。 <https://dnd-inc.jp/contact.html>